

公益社団法人日本雪氷学会関東・中部・西日本支部
2018 年度第2回支部理事会議事録

日時: 2018 年 9 月 13 日(木) 16:00～18:00

場所: ネット会議

出席者: 9 名(兒玉裕二、山岸陽一、中澤文男、堀雅裕、青木輝夫、鈴木和良、縫村崇行、安木啓、矢吹裕伯)

委任状: 1 名平松和彦

理事会員数: 11 名 理事会定足数 8 名

委任状を含めて計 10 人の出席があり、支部内規第 9 条第 5 項により定足数を満たしていることを確認した。

議題

1. 審議事項

1) サイエンスカフェ

- ・資料1について、矢吹理事によって説明され、提案通り承認された。

2) 出前授業

- ・資料 2 について、兒玉理事によって説明された。
- ・支部事業なので、登録者は関東以西支部会員に限定することを確認した。
- ・支部事業なので、支部予算を使用して活動をおこない、消化後は、招聘者負担とする。

本案件は承認され、募集要項の案文作業に入ることとする。

3) 支部賞選考委員会からの提言について

- ・矢吹理事より説明された。
- ・支部賞の設立の背景が確認された。

支部の若手研究者の活発な研究発表と学会参加の促進

雪氷研究の教育・普及活動の奨励

支部活動の活性化

社会貢献

- ・支部賞の大賞を支部会員に限るのかどうかについて:

現在の支部賞規程では、支部会員に限ることとなっているが、公益社団法人化した現在の雪氷学会では、広く候補を募ることが望ましい。支部賞の推薦人を支部会員に限定すること

で、広く支部賞の候補者を募ることも必要である。

本件については、支部賞担当理事が中心となって、支部長および幹事長と相談の上、支部賞の在り方を議論し、報告することとなった。

4) その他 (本部理事推薦プロセスに関して)

・支部長候補選出に関する支部理事会申し合わせに関する件

- ・ 兒玉支部長より本提案の趣旨に説明があった。
- ・ 今年度は、本部理事の選挙の年であり、支部長を支部から推薦することとなっている。
- ・ これまで、支部長の決定プロセスは明文化されていなかったもので、透明性を高めるために申し合わせ事項として明文化することとなった。
- ・ 次期支部長候補者の推薦を、広く支部会員へ推薦を求めることで合意した。
- ・ 2人以上の被推薦者があった場合は、支部理事会で一人に絞ることを合意した。

・支部内規変更案

- ・ 兒玉支部長より変更理由に関して説明があった。
- ・ 支部理事はこれまで内規により、連続して2期4年を超えてその職にとどまれないこととなっている。
- ・ 本部理事は支部理事を兼ねることができるという内規には、上記の規定にそぐわないことがありうる。
- ・ 支部活動の円滑な運営をするために例外規定として現支部内規第6条(2)に“支部内規第11条に関わらず”を入れることで提案された。
- ・ 来年度の総会に向けて支部内規変更の案文を行い、支部総会への提案を進めることとする。

・支部理事・監事の選出方法

- ・ 兒玉支部長より提案内容について説明があった。
 - ・ 現支部内規では、支部理事・監事の選考方法に関して“その選出方法は別に定める”とあるが現支部では、明文化されたものはない。
 - ・ この件、支部理事会で明文化することが基本的に了承された。

今後、案文化して、再度理事会に諮ることとなった。

2. 報告事項

1) サイエンスアゴラの報告

- ・ 堀理事より、本年度のサイエンスアゴの応募結果について報告があった。
- ・ サイエンスアゴラは来場者 3000 人を超える大型のサイエンスイベントであり、関東以西支部として来年度の募集要項を確認の上、出展計画を作成し応募することとなった。

2)その他

- ・安木理事より本部財務委員会からの連絡事項について説明があった。
- ・本部財務委員長からの連絡では雪氷研究大会中止による支部予算の利用方法に関して案内があったが、未確定の情報があり、支部の予算執行への影響はよくわからないので情報を集めて報告することとなった。